

デジタル化成功事例・取組事例

株式会社 西澤製作所（業種：建設・製造）

URL : <https://www.2438.jp/>

企業概要		事業概要	経営理念
資本金	2,000万円	• 鉄構事業 • 改修（リユース）事業 • 太陽光発電事業	『世の中に必要とされるものを提供する』 一.それは人を喜ばせることができるか 一.それは世の中にありふれていないか 一.それは独自の付加価値が付けられるか
従業員数	40名		
代表者	西澤 章		



デジタル化を進めた背景・抱えていた課題

【背景】

- 見積は各人の経験に基づき作成しており、見積もりの標準化ができていなかった。
- 実績（かかった人件費）を把握するために日報を作成していたが、A4用紙に2週間分を記載する様式であったため、「タイムリーに集計ができない」「2週間分まとめて書いた形跡もあり日報の正確性が担保できない」「手書きの字が読めない」という状況があり、①人件費を正確に把握できない、②生産性を評価できない、と言う問題点があった。

【課題】

- 上記背景から、案件ごとの利益が妥当なのか判断できない → 受託すべき案件が客観的に判断できない、と言う課題を抱えていた。

導入したソリューション・工夫したポイント

【導入したソリューション】

日報くん「日報管理システム」

【導入の決め手】

①直感的にわかる操作性、②作業項目をマスター化した上で詳細に設定できる、③紙と異なり入力ルールを統一できる

【工夫したポイント】

- チームリーダーに毎日、最低でも週次で配下メンバーが日報登録をしているか確認するよう運用を徹底させた。
- 個人メールアドレスを教えてもらわなければならないため、悪用しないことを周知

※1年前に緊急安否確認システムを構築したため、そこでもアドレスを聞いていたためにスムーズに進めることができた。

デジタル化成功事例・取組事例

導入の効果・成果

- ・日報の報告遅れが無くなった
- ・タイムリーに作業ごとにかかった工数が見えるようになった
- ・手書きだと字が読めないことがあったが、それがなくなった
- ・手書きだと入力する際、項目にない作業内容を書かれることがあったが、選択式にしたことでそのことがなくなった
- ・項目にない作業内容も順次、項目に入れるようにした
- ・原価管理を正確にできるようになった
- ・各工事をしっかり原価管理で解析し、なぜこの工数がかかってしまったのかを反省材料にしていく
- ・仕事前に予算内で仕上げられるように目標を与えることができる
- ・タイムリーに集計できるので、このままでは予定工数をオーバーしてしまう、などの情報を各部署に知らせる
- ・社員一人一人が原価意識をもって生産効率を上げることができる

これからデジタル化に取り組む企業へのメッセージ

- ・中小零細企業の経営者ですとうちにはまだ早いんじゃないか、とか何からやったらいいのかわからない、などの課題がありますが、なにか不便なことはないか、こんなこと簡単にできないか、など素朴なところから入ってもらったら良い
- ・DX化イコールデジタル、ではなく自分たちのやっていることの整理や引き出しを増やすこと、程度に考えてもらい、初期段階ではいろいろな伴奏支援策も存在しているため、それを活用すると良い
- ・一人で悩まず、社員の方など仲間を巻き込むと会社全体に浸透しやすい